

平成29年度 総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成29年11月28日(火) 開会 午後4時00分
閉会 午後5時00分

2. 会 場 根室市役所 2階 中会議室

3. 出席者 根室市長 長谷川 俊 輔
(根室市教育委員会) 委員長 天神 正 人
委員 澤 村 武 之
" 岩 崎 園 子
" 石 垣 浩 一
教育長 寺 脇 文 康

(事務局職員)

教育部長 今 井 泰 和
教育総務課長 鈴 木 康 哲
社会教育課長 餅 崎 幸 寛
社会体育課長 西 田 悟
総務主査 大 沼 公 治

4. 付議事項

- (1) 平成29年度教育予算について
- (2) 根室市立小中学校適正配置計画の進捗について
- (3) 今後の教育施策について

5. 議 事

○ 長谷川市長あいさつ

(1) 平成29年度教育予算について

<長谷川市長>

説明の前に平成30年度予算編成の見通しについてお話しをいたします。

先週11月24日に予算編成会議を行ったところでありますが、当市においては市中経済情勢の長期低迷や人口減少により市税収入が大きく見込めず、更には地方交付税の減少を見込まざるを得ない状況にあり、このような状況下において、社会保障関係経費の増加に加え、最重要課題である「人口問題・少子化対策」、「公共施設老朽化対策」など、多くの行政需要が見込まれるところであります。

更に平成30年度の収支見通しにおいては、約18億円を超える多額な財源不足が見込まれるなど、近い将来、現状のままでは「貯金が枯渇する」という状況に直面していることから、長期的な視点に立った「財源の健全化」と計画的な「施策の展開」の両立を目指しており、本年度に引き続き、大変厳しい内容となっております。

このような、極めて厳しい状況であります。施策の有効性、効率性の検証を行い、従前の執行方法に固執することなく、見直しを行い、「スクラップ・アンド・ビルド」や「選択と集中」を実践し、創意工夫を持って、限られた財源の効率的かつ重点的な配分に、全力で取り組んでいきたいと考えております。

それでは、事務局より説明をお願いします。

・教育総務課長から【資料2】について説明

<長谷川市長>

ただいま課長が説明しましたとおり、教育費の予算については厳しい財政状況にあっても、約11億5千万円、一般会計における構成比でも6.77%と一定の水準を維持しており、平成29年度も北斗小学校のトイレ整備や総合文化会館整備事業などを事業化したところであり、今後も計画的に進めていきたいと考えております。

教育予算について各委員よりお気づきの点があればご意見をお願いします。

<天神委員長>

市の財政も大変厳しい中、教育予算について一定の水準を維持していただきありがとうございます。

根室市のふるさと納税について、教育分野ではどのような活用をされていますか。

<長谷川市長>

ふるさと納税は、一昨年は10億と、去年は34億に近い全道一の納税率を示しています。

平成29年度では市全体で70事業、8億5,342万9千円に対してふるさと納税を活用しております。そのうち教育事業については【資料2】の3枚目、教育総務課では「学校給食共同調理場施設改修事業」「ふるさと給食事業」「多子世帯学校給食費の無料化」を、総合文化会館では「総合文化会館整備事業」「みらいのアーティスト応援事業」、社会体育課では「みらいのアスリート応援事業」「(仮称)健康マラソン開催事業」「温水プール整備事業」、そして図書館では「セカンドブック事業」について活用しており、資料にないものについては、図書館の蔵書整備を行う図書整備事業により活用が図られておりまして、合計で10件、2億367万4千円を充当しております。

ふるさと納税については、納税者のふるさとを応援したいという思いの実現を可能にしたものでありますことから、本市といたしましては寄付者の意向を念頭に置きつつ、ふるさと「根室」の活性化に活用してまいりたいと思います。

ふるさと納税は総合政策室で担当しておりますが、まず、寄附者に意向を聞いています。市長にお任せという選択もありますが、昨日、民間の方たちからふるさと納税の使い道について24項目の提言をいただいたところであり、皆様の意見を聞いて根室の再生・再興に関わる、未来志向のものに活用したいと考えております。

次に議題の2番目、根室市小中学校適正配置計画の進捗について、事務局より説明をお願いします。

(2) 根室市立小中学校適正配置計画の進捗について

(教育総務課長から【資料3】により説明)

<長谷川市長>

現在、教育委員会において保護者や地域住民の皆さんの十分な理解を得られるよう精力的に説明を行っており、私としましても、学校は地域コミュニティの核としての性格をはじめ、防災や地域交流の場など、様々な機能を有していることから、丁寧な説明を行うよう求めているところであります。

今後においても、いただいたご意見、ご要望を踏まえながら、慎重に判断していかなければならないと考えており、教育委員会と連携して進めてまいりたいと思います。ただいまの課長の説明について、質問などがありましたらお願いします。

<澤村委員>

説明会への参加人数が少ないように感じますがどうでしょうか。

<鈴木教育総務課長>

今回の総合文化会館の多目的ホールにおける説明会について、教育総務課のホームページや広報ねむろ10月号への掲載や、校区内の町内会長に依頼し回覧板による会員への周知、市内各幼稚園・保育所への掲示、ねむろメールによる周知などの他、北海道新聞から取材を受け11月9日朝刊へ掲載されるなど、様々な周知を行ってまいりました。今後も意見や要望を伺うため、校区内の町内会単位で意見交換会を行う予定としております。

<石垣委員>

今回の計画について、ご父兄からはどのような意見がありますか。

<鈴木教育総務課長>

様々なご意見、ご要望をいただいておりますが、通学については通学距離の増加や、自転車、路線バス通学の安全性への不安、スクールバスが出ない場合に路線バスの本数が少ない等のご意見があります。その他に制服やジャージの取扱いの問題、統合先として閉校後の西高等学校を予定していることや、図書館や文化会館などの社会教育施設の近くに新築できないかなど、数多くのご意見をいただいております。これらの皆様からのご意見を踏まえ、慎重に判断していきたいと考えております。

<長谷川市長>

次に議題の3番、今後の教育施策について事務局から説明をお願いします。

(3) 今後の教育施策について

(教育総務課長から【資料4】について説明)

<長谷川市長>

市では、市民意識調査等でのご意見などを踏まえながら、各部局における問題解決に向け、今後の施策展開方針を協議するために政策会議というものを行っており、今回、教育委員会から提出のあった8件の案件のうち、7件について速やかに推進するよう指示し、1件については引き続き検討するとしたところであります。

そのうち、意識調査において関心の高かった、「児童生徒の健全育成」「教育内容の充実」に関わり「学習指導要領改定に伴う外国語教育の充実について」、また「文化財や史跡の保護・伝承」は、今年2月に北構保男氏から寄贈された貴重な歴史資料の活用に関わり、「北方資料研究活用推進事業」について、そして、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「芸術・文化の振興」に関わっては、「根室市みらいのアスリート・アーティスト応援事業の制度改正」についての3件をご紹介します。

担当課から順次説明をお願いします。(担当課長から説明)

・鈴木教育総務課長

「学習指導要領の改訂に伴う外国語教育の充実について」を説明

・餅崎社会教育課長

「北方資料研究活用推進事業」を説明

・西田社会体育課長

「未来のアスリート・アーティスト応援事業の制度改正」を説明

<長谷川市長>

ただいま3点の説明について、ご意見ご質問があればお願いします。

<天神委員長>

幼児期からスポーツを始めないと、将来、オリンピックなどを目指す場合に力がかからないため、昔に比べて子どもの大会数が増えており、未来のアスリート・アーティスト応援事業は大変ありがたいと感じております。最近、水泳などで全国・全道まで行くケースが増えており、保護者の負担が増加していくため、これからも補助をお願いしたいと思います。

<西田社会体育課長>

現在、根室市においては、全道・全国・世界大会の3試合について、1年間に各一回ずつの補助を行っております。

<天神委員長>

従来から総合体育館構想というのがあり、市民要望も強かったと思います。

明治公園や運動公園でジョギングなどを行っている方がおりますが、冬期間に雪が積もり走ることができない場合でも、黒部市や中標津町の総合体育館では館内に走るコースがあり体を動かします。

総合体育館整備構想について、今後も計画の推進をお願いします。

<今井教育部長>

教育委員会では、市民の代表の方と総合体育館の建設に向けた審議会において、どのような機能が必要かなどを論議し、様々なご意見をいただいているところでありますが、今後、委員長の言われたような意見が出ることも予測されますので、市民の皆様や体育協会の方から出たご意見やご要望等を集約し、市長にもご説明させていただくようにしてまいりたいと思います。

<長谷川市長>

今後についても、今回のような会議や意識調査で得た市民の皆様からの意見に耳を傾けながら、子どもたちの学びの充実や成長のため、併せて市民の学びの充実に様々な施策が活かされるよう、取り組んでいかなければならないと思っています。

私としては、第9期総合計画にある『海と大地に根ざす「生産・交流都市」ねむろ』が将来の都市像と考えております。根室には他の地域に負けない自然や美味しい魚があり、最近では歴史・文化も多く取り上げられており、埋もれている資産を開発し、交流人口を増やしたいと考えています。

昨日、根室市ふるさと応援みらい会議からいただいた提言では、子どもや乳幼児の遊べる全天候型の遊び場があれば、人がたくさん来るのではないかと意見がありました。博物館についても、北構氏から寄贈された資料が相当な量になり、現在の歴史と自然の資料館では入り切らないのではないかと考えています。総合体育館も交流人口を増やすものと思っています。

提言書では1番が子ども向け屋内遊戯施設の整備で、2番が文化財を利用した観光振興となっており、教育委員会には頑張ってもらいたいと思っています。

○その他

特になし

○閉 会

<長谷川市長>

それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

午後5時00分閉会